

## 2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	建築人間工学小委員会	主 査 名：後藤 義明 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)	委員長名：広田 直行 主 査 名：山田 哲弥
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築空間・設備機器・家具の安全性や快適性の実現に必要な人間工学関連の知見を蓄積・更新し、これらを供給者ならびに生活者に提言する。</li> <li>・ 小委員会の開催と建築人間工学の若手研究者の支援</li> <li>・ 建築人間工学研究会の開催</li> <li>・ 建築人間工学に関する刊行物の出版</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：後藤義明(岡山理科大学)、幹事：飯塚裕介(大東文化大学)、畠山雄豪(東北工業大学)、 委員：老田智美(NATS 環境デザイン)、岡田明(大阪市立大学大学院)、 古賀紀江(関東学院大学)、古瀬敏、佐野友紀(早稲田大学)、嶋田拓 (明野設備研究所)、 白石光昭 (千葉工大)、田中直人(島根大学)、徳田 良英(布帝京平成大学)、 田健 (国総研 NILIM)、吉岡陽介 (千葉大)	
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報技術を利用した人間工学的建築評価手法 WG：計測機器や VE に関する研究成果を集め、計測機器の精度等を評価し、VE 技術の新たな可能性を検討する。</li> <li>・ 人間特性の多様性に着目した設計事例・基準検討 WG：多様な人間特性に着目し、これらの特性から導かれるデザイン事例を検証するとともに、関連する設計基準の現状と規定内容について検討する。</li> </ul>	
2018 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s23/

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. 第 65 回建築人間工学研究会 「BIM+VR が拡張する建築デザイン」 2019 年 3 月 16 日開催予定 参加者見込み 50 名
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 小委員会開催：4 回 (活動計画 4 回予定) 2. 研究会開催：1 回 (3 月 16 日に開催予定) (活動計画 2 回予定) 3. 出版なし (活動計画 出版予定)
委員会活動の問題点 ・課題	1. 出版に関しては当初予定の建築人間工学事典の改定出版が困難になったため 設計事例の Web 出版として検討することになった。 2. WG の活動が活発化され、研究会の開催まで結びつけることができたので、 引き続き活動を促進する。